

東南・南アジアにおける高速鉄道の整備スキームに関する分析

第158回運輸政策コロキウム アセアン・インド地域レポート

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび運輸総合研究所において、『東南・南アジアにおける高速鉄道の整備スキームに関する分析』と題し、第158回運輸政策コロキウムを開催いたします。

ご関心をお持ちの皆様におかれましては、ぜひご参加を賜りますようお願い申し上げます。また、皆様の身近でご参加いただけるような方々に広くご周知いただければ幸いです。

なお、ご参加に際しては、大変恐縮ですが、下記の申込専用 URL からお手続き下さい。

敬具

記

○第158回運輸政策コロキウム アセアン・インド地域レポート

東南・南アジアにおける高速鉄道の整備スキームに関する分析

日 時：2024年1月15日（月）15:00～17:00

会 場：運輸総合研究所2階会議室 及び オンライン配信（Zoomウェビナー）

1 発表およびコメント

発 表 者：南 裕 輔 アセアン・インド地域事務所（AIRO） 研究員

コメンテーター：柿崎 一郎 横浜市立大学国際教養学部 教授

2 ディスカッション

コーディネーター：屋井 鉄雄 運輸総合研究所 所長

参加者：発表者およびコメンテーター

参 加 費：無料

お申込み：下記の URL よりお申し込みください

<https://krs.bz/jterc/m/collo240115>

（申込期限：2024年1月11日（木）まで）



※お申し込みいただいた方には、1月12日（金）に視聴用 URL を送付いたします。

概要：

2023年10月、東南・南アジア初の高速鉄道としてジャカルタ・バンドン高速鉄道が開業した。また、タイやインドでも高速鉄道の整備事業が進められており、ベトナムやマレーシア・シンガポール等においても高速鉄道の整備に関する検討が進められている。このように同地域では高速鉄道への関心が高まっている。それらのうち既に事業化されているものに注目すると、協力国との関係や整備スキームの観点でそれぞれの事業において特徴が浮かび上がってくる。

本コロキウムでは、東南・南アジアで事業化されている複数の高速鉄道事業について、計画の過程、資金調達手法、建設等、整備スキームの背景や実態を把握・比較し、それらの特徴や課題について発表し、今後の高速鉄道整備事業の検討に向けた議論を行う。

発表者：南 裕輔

アセアン・インド地域事務所(AIRO) 研究員



2012年に神戸大学大学院工学研究科市民工学専攻博士前期課程を修了。2012年に西宮市役所に入所し、都市局で宅地開発に関する審査業務に携わる。2015年に鉄道建設・運輸施設整備支援機構に入構し、大阪支社にて北陸新幹線（金沢・敦賀間）の役務及び工事の発注・監督業務に携わる。2020年8月に運輸総合研究所に出向し、在バンコク事務所開設準備室研究員としてアセアン・インド地域事務所の立ち上げを担当し、2021年4月より現職に至る。

コメンテーター：柿崎 一郎

横浜市立大学国際教養学部 教授

1993年東京外国語大学外国語学部インドシナ語学科タイ語専攻卒業、1995年同大学院地域文化研究科博士前期課程修了、1999年同 博士後期課程修了。1999年横浜市立大学国際文化学部 専任講師、2003年同 助教授、2005年同大学国際総合科学部 准教授、2015年同 教授、2019年同大学国際教養学部 教授。専門分野は、タイ社会経済史、インドシナ交通論。主な著作は、『タイ経済と鉄道 1885～1935年』、『鉄道と道路の政治経済学 タイの交通政策と商品流通 1935～1975年』、『都市交通のポリティクス バンコク 1886～2012年』受賞歴は、2001年第17回大平正芳記念賞、2011年第2回鉄道史学会住田奨励賞、2015年第40回交通図書賞、2015年第30回大同生命地域研究奨励賞などがある。



主なSDGs関連項目



運輸総合研究所は日本財団の助成を受けて活動を行っております。

Supported by  日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

お問い合わせ：一般財団法人運輸総合研究所 担当：黒川、東山

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19 (UD 神谷町ビル)

TEL : 03-5470-8415 FAX : 03-5470-8401

E-mail : collo2@jttri.or.jp

HP : <https://www.jttri.or.jp/>